

平成25年 9 月定例会

補 正 予 算 資 料
(主な項目)

秋 田 市

平成25年 9 月定例会補正予算

(単位：千円)

会 計 別		現 計 予 算	9 月 定 例 会 補 正	補 正 後 予 算
一 般 会 計		122,699,786	(28,606) 184,344	122,884,130
特 別 会 計	土 地 区 画 整 理 会 計	1,617,150	-	1,617,150
	市 有 林 会 計	129,659	-	129,659
	市 営 墓 地 会 計	49,972	-	49,972
	中 央 卸 売 市 場 会 計	84,811	-	84,811
	公 設 地 方 卸 売 市 場 会 計	360,375	-	360,375
	大 森 山 動 物 園 会 計	472,810	-	472,810
	廃 棄 物 発 電 会 計	332,329	-	332,329
	国 民 健 康 保 険 事 業 会 計	33,329,646	2,033	33,331,679
	母 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業 会 計	61,639	-	61,639
	介 護 保 険 事 業 会 計	26,741,930	65,510	26,807,440
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 会 計	3,193,453	-	3,193,453
	特 別 会 計 合 計		66,373,774	67,543
企 業 会 計	病 院 事 業 会 計	10,950,168	-	10,950,168
	水 道 事 業 会 計	11,114,157	(2,910,120) -	11,114,157
	下 水 道 事 業 会 計	18,099,389	-	18,099,389
	農 業 集 落 排 水 事 業 会 計	1,033,142	-	1,033,142
企 業 会 計 合 計		41,196,856	(2,910,120) -	41,196,856
総 計		230,270,416	(2,938,726) 251,887	230,522,303

※「9月定例会補正」欄の（ ）の数字は、債務負担行為補正の金額

前 年 同 期 対 比 表

会 計 別	25 年 9 月 定 例 会	24 年 9 月 定 例 会	増 △ 減	増 減 率
一 般 会 計	122,884,130	121,948,913	935,217	0.8%
特 別 会 計	66,441,317	63,567,251	2,874,066	4.5%
企 業 会 計	41,196,856	40,790,070	406,786	1.0%
総 計	230,522,303	226,306,234	4,216,069	1.9%

補正予算資料（主な項目）

今回の補正予算は、ゆき総合対策や制度改正、災害復旧事業など、急を要する事業により編成した。

（単位：千円）

1 ゆき総合対策関係事業

(1) 〔新〕コミュニティセンター等小型除雪機配備事業（市民生活部） 9,954

市民協働による除排雪の取組として、町内会単位での除雪作業に小型除雪機を貸出しするため、未配備の各地区コミュニティセンター等へ配備する。

・配備台数 15台（コミュニティセンター11台、地域センター4台）

(2) 〔新〕高齢者・障がい者雪下ろし支援事業（福祉保健部） 5,460

道路豪雪対策本部が設置された際に、自力で雪下ろしが困難な高齢者および障がい者に対し、雪下ろしに要する経費の一部を助成する。

・対象世帯 市民税非課税で、持ち家の世帯

高 齢 者：65歳以上の高齢者のみの世帯など

障がい者：65歳未満で身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳および特定疾患医療受給者証の交付を受けている者のみの世帯など

・実施期間 道路豪雪対策本部が設置されてから3月31日まで

・助 成 額 雪下ろしに要した費用又は10,000円のいずれか低い額
雪下ろしおよび排雪に要した費用又は15,000円のいずれか低い額

・助成回数 同一年度で1回

(3) 高齢者軽度生活援助事業（福祉保健部） 3,080

おおむね65歳以上の日常生活上の援助が必要なひとり暮らし高齢者等を対象に行う高齢者軽度生活援助事業のうち、雪寄せ作業の利用回数を週1回から週2回に拡大する。

・委 託 先 一般社団法人秋田市シルバー人材センター

・実施期間 11月1日から3月31日まで

・利用時間 1回につき1時間まで

・利 用 料 1,500円／回

（うち利用者負担金：一般300円、生活保護受給者0円）

(4) 除排雪関係経費（建設部）

61,085

迅速な除排雪を実施するため、これまで道路除排雪対策本部で行っていた業務の一部を外部委託するほか、作業オペレータの講習会を開催するなど、道路除排雪対策を強化する。

①コールセンターの開設 30,690

- ・電話対応業務をコールセンターへ委託する。
- ・専属のオペレータが対応し、除排雪対策本部とリアルタイムで情報共有を図る。
- ・電話回線をこれまでの5回線から7回線に増設する。

②道路パトロールの強化 24,850

- ・道路パトロールを公益財団法人秋田市総合振興公社に委託し、路面状況や吹きだまり箇所等を迅速に把握する。
- ・市内10地区にパトロール車を1台ずつ配備し、24時間体制でパトロールする。

③小型除雪機の燃料支給 1,760

- ・町内会等の団体が個人所有のハンドガイド式小型除雪機や農業用機械等で地域の生活道路を除排雪する場合に燃料を支給する。

④除排雪技術向上研修、小規模堆雪場看板設置等 3,785

- ・経験の浅い作業オペレータの講習会を開催して技術向上を図る。
- ・市街地の空き地を地域の堆雪場として活用する。

2 制度改正関係事業

(1) 【新】子ども・子育て支援事業計画策定経費（子ども未来部）

3,989

平成27年4月に予定されている子ども・子育て支援新制度の本格施行に向け、市町村において策定が義務づけられている事業計画を策定するための会議の運営やニーズ調査を実施する。

①地方版子ども・子育て会議の運営

- ・現行の社会福祉審議会児童専門分科会委員に幼保関係者、保護者等を追加し、年度内に5回開催する。

②子ども・子育て支援ニーズ調査の実施

- ・子ども・子育て支援に関する今後の利用希望等を把握するため、就学前児童および小学生約4,000人の保護者を対象に実施する。

(2) 【新】子ども・子育て電子システム構築事業（子ども未来部）

11,059

子ども・子育て支援新制度に係る全国総合システムの開発に伴い、現行のシステムに必要となる機能を追加するための改修を行う。

- ・事業期間 平成25～26年度 <債務負担行為設定 13,271千円>

3 災害復旧事業

(1) 県単局所防災事業（農林部） 8,000

平成25年7月12日の梅雨前線豪雨で崩壊した山腹の復旧工事を行う。

- ・被災箇所 太平八田字堂ノ前（三吉神社裏山）
- ・復旧工法 のり枠工 A=200㎡

(2) 農地農業用施設災害復旧事業（農林部） 3,700

平成25年7月12日の梅雨前線豪雨で被災した農業用施設の復旧を行う。

- ・被災箇所 雄和相川字滝ノ沢ほか6箇所
- ・被害状況 水路溝畔崩落など

(3) 林業施設災害復旧事業（農林部） 6,800

平成25年7月12日の梅雨前線豪雨で被災した林業用施設の復旧を行う。

- ・被災箇所 太平八田字二手の又ほか5箇所
- ・被害状況 林道路盤流出など

4 国・県補助等関連事業

(1) 老人福祉施設整備費補助金（福祉保健部） 5,190

既存の小規模多機能型居宅介護事業所のスプリンクラー設備等の整備に対し、工事費の一部を補助する。

- ・対象施設 小規模多機能型居宅介護事業所 2施設

(2) 商店街振興事業（商工部） 2,233

アーケードや街路灯などの共同施設を整備する商店街等に対し、費用の一部を補助する。

- ・広小路商店街振興組合 アーケード改修事業
- ・秋田パティオ協同組合 バス停前ベンチ等整備事業
- ・土崎相染町商店会 街路灯設置事業

5 その他の事業

(1) [新] 土崎・新屋まちづくり基本構想策定経費（企画財政部） 5,000

市民協働により土崎地区および新屋地区の地域振興を図るため、地域資源を生かしたまちづくりの基本構想を策定する。

- (2) **住宅リフォーム支援事業（都市整備部）** 15,000
住宅の増改築やリフォーム工事を行う者への補助について、申請件数の増加を見込む。
・申請件数 当初2,950件 → 見込3,250件
- (3) **〔新〕雄和地域統合小学校整備事業（教育委員会）** 28,028
雄和地域の川添・種平・戸米川・大正寺の4小学校を統合し、雄和中学校に併設して新たな小学校を建設するための基本・実施設計を行う。
・平成28年4月開学予定
- (4) **〔新〕お客様センター業務等の包括的民間委託経費（上下水道局）**
現在、職員が行っている受付・収納・電算処理などの料金等徴収業務と、個別に委託している検針・メーター関連・漏水修理などの業務を一本化し、平成26年4月から包括的民間委託を実施する。
・契約期間 平成25～30年度 <債務負担行為設定 2,910,120千円>

平成24年度企業会計決算

(単位：千円)

区 分		病 院	水 道	下 水 道	農業集落排水
収 入	収益の収入	9,962,413	7,198,441	9,417,604	593,924
		(下段：A)	9,950,194	6,865,172	9,163,724
	資本の収入	759,135	1,441,768	3,447,494	527,068
		759,135	1,431,424	3,447,482	527,068
	計	10,721,548	8,640,209	12,865,098	1,120,992
		10,709,329	8,296,596	12,611,206	1,105,970
支 出	収益の支出	9,726,803	6,223,115	8,782,663	573,852
		(下段：B)	9,716,806	5,988,504	8,547,874
	資本の支出	1,159,135	3,928,339	7,774,367	733,754
		1,136,862	3,824,257	7,680,862	713,580
	計	10,885,938	10,151,454	16,557,030	1,307,606
		10,853,668	9,812,761	16,228,736	1,283,724
24年度損益 (A－B)		233,388	876,668	615,850	8,758
23年度末累積欠損金		2,101,951	—	—	—
24年度末累積欠損金		1,868,563	—	—	—
24年度末未処分利益剰余金		—	876,668	615,850	8,758
[参考] 23年度損益		440,118	787,729	762,703	6,684
不良債務比率 (%)		—	—	—	—

※ 上段は消費税込みの額、下段は消費税抜きの額である。

※ 水道事業会計・下水道事業会計・農業集落排水事業会計の24年度末未処分利益剰余金については、減債積立金への処分を予定している。